

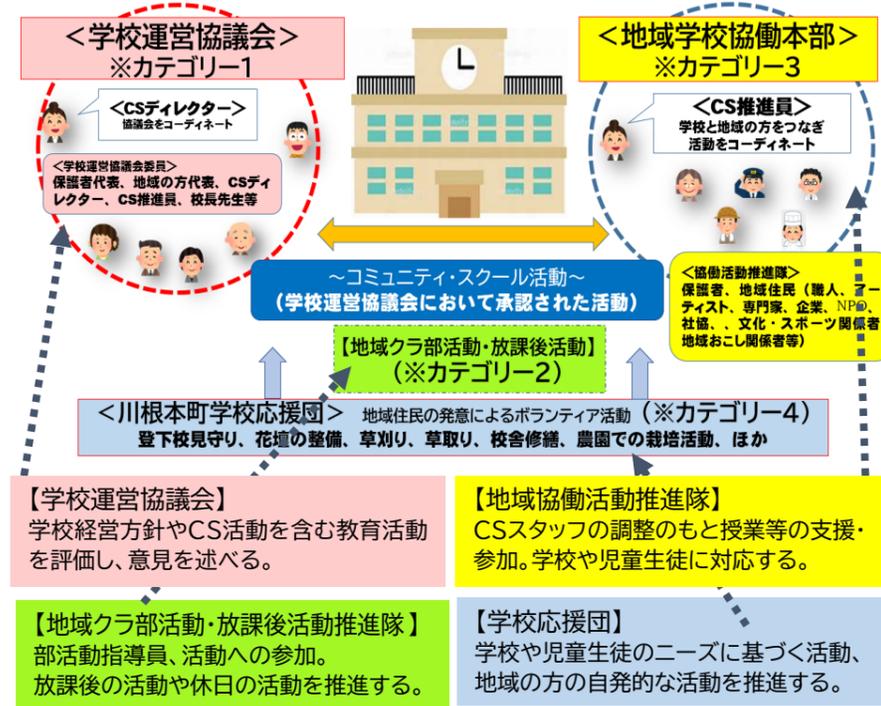
【川根本町型コミュニティ・スクール(CS)とは】

CSとは、学校運営協議会を設置した学校のことで、

川根本町では、令和4年度より、中学校区(義務教育学校)ごとに学校運営協議会を設置し、学校の経営方針や教育活動について意見をいただき、地域と連携・協働しながら、学校運営に取り組んでいます。

またCSのスタッフが、学校と支援して下さる地域の方をつなぎ、多くの地域の方が、授業や行事、環境整備等に参加しています。児童生徒だけでなく、一緒に関わってくださった地域の方も、みんなのウェルビーイング(「みんながここにいい」という持続的な幸せ)が実感できる活動をめざしています。

4つのカテゴリーで学校と地域との協働活動(CS活動)を推進しています。



～川根本町教育大綱(2024～2026)

【学校教育基本目標】

- 内発的動機をもって主体的に行動し、他者とかかわり合いながら共に学びを成長していく、「自立」と「共生」が育つ学校をつくる。
- 相互に承認された自由・人権が保障され、一人一人が尊重し合い、誰一人取り残されず可能性を伸ばしていく学校をつくる。

【R6～8 重点施策】

- 子供の主体性と多様性を踏まえて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、未来と世界を指向し、川根本町の特色を生かした持続可能な義務教育学校を推進する。
- すべての子供たちの安全安心な生活・学び、確かな成長を支えられる教育環境を整備、充実させる。
- 未来を開く魅力ある高校教育の充実に向け、地域と協働した町ぐるみの支援及び義務教育との連携・交流を推進する。
- 教職員が高い使命感とやりがいをもって教育に打ち込める環境づくりを推進する。

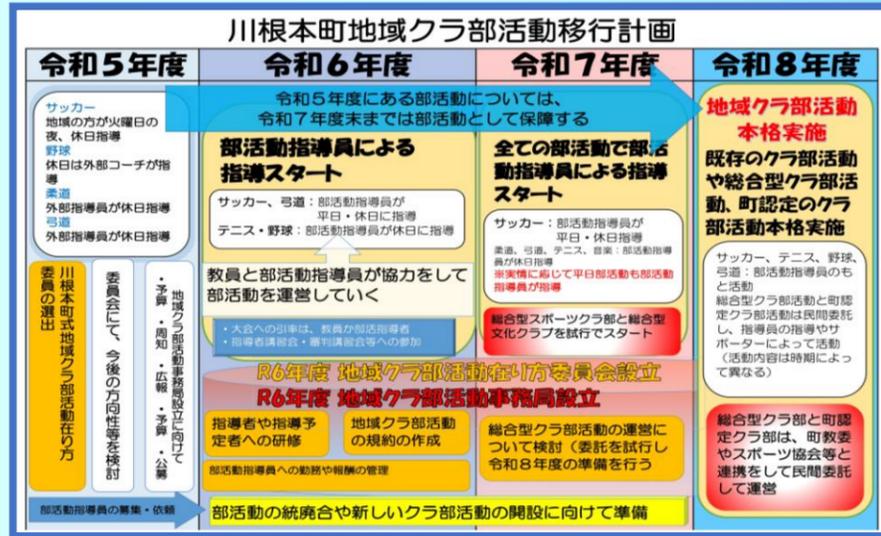
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ★義務教育学校の基盤をつくる。教育活動の実践 工夫・改善・浸透 ★特徴的な教育活動の検討 学年制の検討・教科担任・授業の構造改革・学びの多様化・働き方、居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ★義務教育学校の充実 ★特徴的な義務教育学校の教育活動の発信・さらなる発展 	
地域協働	<ul style="list-style-type: none"> ★義務教育学校でのCS(コミュニティ・スクール)開始 まるごとカフェ開始 CS拠点づくり ★地域クラブ活動検討委員会設置 	<ul style="list-style-type: none"> ★CS活動の浸透 CS拠点づくり 学校運営協議会で熟議 学校応援団活動充実 ★部活動指導員すべての部活動に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ★CS活動深化・充実 学校運営協議会で熟議 学校応援団活動の充実 ★地域クラブ活動、放課後活動の本格実施
教育行政	<ul style="list-style-type: none"> ★義務教育学校下で次世代教育の推進 ★川根本町型地域クラブ活動移行説明会の実施・事務局設置 	<ul style="list-style-type: none"> ★学校教育ビジョンによる次世代教育の進行管理 ★地域クラブ活動体制整備・アラウンドスクール検討・構想共有 	<ul style="list-style-type: none"> ★学校教育ビジョンによる次世代教育の進行管理 ★OIDE本格実施 ★アラウンドスクール構想推進

2025

川根本町学校教育ビジョン ～「共生」と「自立」が育つ義務教育学校・スクールコミュニティをめざして～

令和8年度より中学部活動は地域移行し 川根本町地域クラブ活動となります

中学校部活動を地域に移行し、中学生だけでなく若男女問わず、生涯に渡ってスポーツや文化に親しむ町づくりを目指します



令和7年4月
 川根本町教育委員会

- 学校クラブ活動、総合型地域クラブ活動、町認定地域クラブ活動の中から選択して活動する(任意加入)。
- 受け入れ可能な地域のクラブにも参加することもできる。
- 部活動指導員や地域クラブ指導員、サポーターに支えていただき活動を行っていく。
- 令和7年秋に総合型地域スポーツクラブを試行的にスタートする。

地域の方と関わりながら、いろいろな種目や活動を経験する機会をつくる

「地域への誇りと愛情(共生)」「豊かな才能(自立)」をもった

「未来共創人材」が育つ川根本町の共育

北極星

北極星＝川根本町の教育の共有ビジョン

子供(学校)も大人(地域)も、北極星をめざし、
未来に向かって共に進みます。



学び 1.0、2.0 で培った力を活かし、他者やコミュニティが目指したい未来を共有しながら学ぶ「学び 3.0」へ

<学び 1.0>:「効率性」

- ・すでにある正解を学ぶことに最適化したインプット中心の学び
- ・クオリティ(質)重視の学び
- ICT を駆使した個別最適化
- ・RG 連携授業

<学び 2.0>:「主体性」

- ・学び手が自分の興味関心や状態に合わせて学びをデザインする主体的な学び
- ・リアリティ(本物)重視の学び
- 探究学習、自己調整学習…

<学び 3.0>:「共創性」

- ・個人の学びと多様な他者との関係性を掛け合わせてアウトプットを生み出していく、共創的な学び
- ・子供(学校)も大人(地域)も共に進化する学び
- ・学校を核としたまちづくり＝スクール・コミュニティにつながる学び



「0～18歳までの系統的なキャリア発達」をめざして 保育園・高校・関係機関をつなぐ ～シームレスな学びの実現～

「小規模校のよさを生かした」2校のそれぞれ特徴のある義務教育学校

義務教育学校の基盤をつくる

一貫教育のプラットフォームとして役割(保育園・幼稚園・高校との接続の基盤)をもつ学校

- ☆「地域と生きる学び」地生学の導入
- ☆多様な学びの選択・居場所づくり

校外居場所スペース
フリースペース「OIDE」

4つの壁を乗り越える
「地域との壁」「学年の壁」「校種の壁」「観の壁」

桜保育園
三ツ星保育園
徳山聖母保育園
さゆり幼稚園 (R7.3月現在休園中)

子育て支援施設「ひだまり」「こもれび」
子育て世代包括支援センター(健康福祉課)

「架け橋期」の充実をめざして
授業参観・交流 研修会の実施
→スタートカリキュラムの作成(R6)・実施展開(R7)
→アプローチャカリキュラムの作成(R6)・実施展開(R7)

三ツ星学園

- 学校教育目標
学びをひらく 未来をひらく
- 重点目標
自分を磨き 考え 行動する

- 全校児童・生徒数 (R7.4月現在)
前期課程 (1～6年生) 101名
後期課程 (7～9年生) 78名

<所在地>
〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾 1000番地
<連絡先> Tel 0547-56-0032 FAX 0547-56-2057
E-mail K-mitsuboshi.1@kawaneshi-do.com



【携帯サイト】

光の森学園

- 学校教育目標
「自分・人・郷土」を愛する
- 重点目標
「輝く自分」をつくる
～自分で磨く 共に磨く～

- 全校児童・生徒数 (R7.4月現在)
前期課程 (1～6年生) 35名
後期課程 (7～9年生) 28名

<所在地>
〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭 1236番地の6
<連絡先> Tel 0547-59-2026 FAX 0547-59-4051
E-mail K-hikarinomori.1@kawaneshi-do.com



【携帯サイト】

川根高校

「行きたい学校づくり」推進事業
小規模校における縦・横の地域連携
・学科改善
・魅力的なカリキュラム・マネジメントの研究 ほか

寄宿寮「南麓寮」
若者交流センター「奥流」

- ・連携型中高一貫教育の推進
- ・魅力化事業 授業交流

教育活動の推進・改善・浸透

特徴的な教育活動の検討

多様な学びの推進・選択

コミュニティ・スクールの推進

地域協働活動

学校応援団

地域クラブに向けての準備

居場所づくり

0歳 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18歳

令和7年度 取組の重点

「一人でもみんなでも」一人一人が主役となる学びをめざして

- ☆学習指導要領の理念や教育へのニーズに対応した教育活動
- ☆授業改善から学びの構造転換へ
子供観・授業観の構築(本物・個別・探究・協働)
- ☆自由進度学習・探究学習・ファシリテーション型の学び
異学年の活動づくりを推進
RG 授業の継続等

町研修テーマ 「主体的に学ぶ ～私が学びの主人公!～」

【願う子供の姿】

各教科の特性を生かした学習や教科横断的な学習の中で、思考力・判断力・表現力を働かせながら、自分で学び、みんなで学び、付けたい資質・能力を高めている。
(学びに向かう力、理解する力、理解していることを活用する力)

9年間の継続した取組で、
一人一人が自立した学びを身に付ける!!

取組① 「一人でもみんなでも」一人一人が主役となる学び
(授業改善から授業の構造転換へ 観の転換)

- ★個別最適な学び(指導の個別化・学習の個性化)と協働的な学び(仲間や地域の方との学び)の追求・積み重ね
自由進度学習・探究学習・ファシリテーション型の学び
関西大学、岩崎保之教授による研修会実施
同学年・異学年の活動づくり・RG授業継続
- ★町研修推進委員が授業の構造改革の推進役となり、授業の構造改革を推進
- ★視察研修を実施
義務教育学校の授業づくり、教育課程に生かしていく。
- ★義務教育学校のよさを生かすための教職員・臨時講師・支援員等の配置

取組② 町から世界へ 世界から町へ

- ★川根本町のよさを実感するカリキュラム開発 探究学習の充実
総合的な学習の時間、子ども議会開催(R7は三ツ星)
- ★情報の発信・受信
町と世界をつなぐ 外国との交流活動
カナダ研修、インド研修(ZOHOジャパン協力)、
海外インターン生との交流
- ★ICT環境のさらなる充実
タブレット端末活用8年目、実践活用さらなる発展へ
国内外オンライン、ICT支援員の配置 環境整備の充実

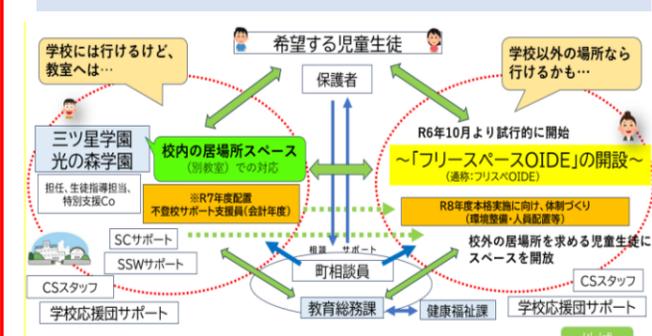
取組③ 一人一人が尊重され、誰一人取り残さない支援体制の構築

- ★0～18歳までの系統的なキャリア教育の体制づくり
「つなぐ」がキーワード 幼保・高校との連携を進める。
元さいたま市教育長・兵庫教育大学客員教授・細田真由美先生をアドバイザーとして招聘
- ★生徒指導、特別支援教育の充実
生徒指導提要の浸透推進
(居場所づくり、校内・校外支援、絆づくり、未然防止、初期対応、事後指導)
SC・SSW・町相談員・関係機関との連携 通級指導の充実
特別支援教育アドバイザー招聘:焼津市発達支援教室「じゃんけんぼん」 夏目徹也先生、夏目孝子先生による支援
- ★ア라운드スクール構想
学校をとりまく放課後活動
子供の思いに応えられる活動、可能性を広げる場を検討

取組④ 地域と共に創る学校(スクール・コミュニティ)をめざして

- ★CS(コミュニティ・スクール)の浸透、充実を図る。
みんなのウェルビーイング 川根本町型 CS をめざして
学校運営協議会、地域協働活動、学校応援団の充実
CSスタッフ企画(わんぱくチャレンジスクール・まるごとカフェ)の実施
- ★部活動から地域クラブ活動へ、検討委員会設置(R8に向け)
制度設計、予算検討、地域指導者の推進、情報発信・理解の共有

<校内・校外の居場所づくりの設置>
～誰一人取り残されない学びの保障に向けて～



☆校内の居場所スペース環境整備・支援体制の構築
学校と連携・協力しながら、令和7年度に、校内支援員を各校に配置する。学習したいと思う児童生徒を支援する。

☆校外居場所「フリースペース OIDE」
令和6年10月より試行的に進めており、令和7年度に、環境・支援体制を整備し、令和8年度には、川根本町型居場所づくりの正式運用をめざす。